

21世紀山形県民会議

官民連携し魅力発信



東北中央自動車道大石田村山1尾花沢間の開通式。インバンド拡大に向けて高速道建設などインフラ整備が欠かせない。川村山市土生田

佐藤 洋詩恵氏



住む人が「本当に幸せ」「山形は良いところだよ」と、声高に呼び掛けることこそが一番大切だ。

戦略とアイデア

― 巡目の発言を踏まえ、新たな市場の開拓が必要。具体的な戦略やアイデア、今後の展開をお聞きしたい。大きい欧米豪の旅行者を呼び寄る。海外からの誘客には、込みた。蔵王のスキーなど

本県の観光素材が持つ高い訴求力を生かして戦略的な誘客事業を検討し、実施する。空路を巡る新たな動きとして先月、国内最大級のLCCジェットスター・ジャンボより、庄内―成田線の就航検討の表明があった。地元市町や経済団体など受け入れ態勢を整え、早期の就航を目指す。奥羽・羽越新幹線の実現に向けては、山形新幹線の福島米沢間の新トンネル整備の早期事業化へ、財源スキームなどについて検討を進めている。海路では、観光消費額の拡大が期待できる外航クルーズ船について、酒田港への寄港を拡大するため、官民連携による誘致活動などを強化

土田 山形空港の滑走路延長は空港所在地の市長として賛成だ。県民が利用する朝晩の時間帯に運航すれば、新幹線との共存共栄は可能」と言

清野 外国人旅行者の来県を地方経済の発展に結び付けるため、消費を促したい。その鍵は3点あり、最初が山形の強みを生かすこと。東北各県が冬の観光をPRする中、外国人が最も魅力的に感じる雪や冬のイベントのPRに力を入れ、食、伝統文化、山岳信仰などの素材を組み合わせた観光ルートも提案したい。

熊谷 株価も物価も上がらない状況下、訪日観光客数は右肩上がり。インバンドを生かさない手はない。本県は観光立国の条件となる気候、自然、文化、食の四つを兼ね備えており、大きなアドバンテージがある。東北に伸びしろがあると言われるが、何かしら手を打たないと旅行者は来てくれない。WiFiの整備など受け入れ体制に重点を置いてお金をかけるのではなく、誘客にも十分な額を配分する必要がある。また、海外から呼び込むだけではなく、こちらから海外に足を運ぶことも大切だ。例えば成人式のお祝いにバスポートを配れば、若者が海外に目を向けるいい機会になるのではない



熊谷 芳則氏

こちらから海外に足を運ぶことも大切だ。成人式でバスポートを配れば、若者が目を向ける機会になる。

遠藤 利明氏



柔道、三味線、琴、山車やみこし。そうしたものを地域で体験し、そこでおいしい食べ物を味わってもらうことが大事。

佐藤 住んで良い街は訪れて良い街。そこに住む人が「本当に幸せ」「山形は良いところだよ」と、声高に呼び掛けることこそが一番大切だ。山形は3世代同居率が日本一で、世代間の「和」に優れる。その点も含めて私は「山形こそスペシャル」と言い続けている。きめ細やかに情報を発信し、「何てハッピーな山形でしょう」と言い続けたい。かみのやま温泉には140年前、英国の女性旅行家イザベラ・バードが訪れている。その時にバードが評価し、今も残る原風景や日本の古き良きものを大切にしたい。天童、

遠藤 中国のインターネット通販アリババを訪ねた時、「中国人が日本でおいしいものを食べると、中国でも食べなくなる」と言われた。農水相と全農幹部が、どうしたら中国で食材が売れるか議論していた。そういう流れは本県の農業をたくましくするきっかけになる。先ほどから「体験」がキーワードになっている。外国人から道場で柔道の練習がしたい、三味線や琴を弾きたい、山車やみこしをかつぎたいという希望がある。そうしたものを地域で体験し、そこでおいしい食べ物を味わってもらうことが大事。農業と観光を結び付けるなど新しい考え方も必要となる。